

科 目 名	公民Ⅰ CivicsⅠ			担当教員	山岡健次郎		
学 年	2 年	学 期	通 年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	17220016	単位区別	履修
学習目標	自己と社会との関係性を倫理的観点から考察していく。そのさい、「他者」、「自然」、「宗教」、「科学」といった問題性に着目する。過去の哲学者・思想家の思索に触れることで、多様なものの見方を身につけ、具体的な問題を自分自身で考える力を養うことを目指す。						
進 め 方	教科書および担当教員の作成する資料をもとにして、講義形式で進める。 テーマを設定し、討論も交えながら、倫理的問題に対する視角を深めていく。 なお、定期試験のほかに適宜レポートなどの課題も課していく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 「倫理」とは（2） 2. 青年期の課題と自己形成（2） 3. ギリシャ思想（6） （1）ソクラテス （2）プラトン （3）アリストテレス 4. 事例研究（4） ----- [前期中間試験]（1）			自己への問いかけを通して、自分自身を見つめ自分たちを取り巻く様々な環境の中で、他者と共に生きる大切さを理解させる。 A1:3 哲学の起源をたどる。 A3:2			
	5. 答案返却・解答（1） 6. 世界の宗教（10） （1）ユダヤ・キリスト教 （2）仏教 （3）イスラム教 7. 事例研究（4） ----- 前期末試験			古代宗教に対する理解を深める。 A3:1,2 現代社会の中で生じている様々な倫理的課題を理解する。 A1:1,2 A3:1,2			
	8. 答案返却・解答（1） 9. 中世から近代へ（2） 10. 経験論と合理論（7） （1）ベーコン （2）デカルト （3）スピノザ （4）ヒューム 11. 事例研究（4） ----- [後期中間試験]（1）			近代科学の誕生と科学の発展がもたらす問題について考察する。 A3:1			
	12. 答案返却・解答（1） 13. カントの哲学（4） 14. 功利主義者たち（4） 15. 善く生きるために（2） 16. 事例研究（3） ----- 後期末試験 17. 答案返却・解答（1）			善く生きることの意義について考察する。 A3:1			
評価方法	定期試験（90%）、提出物（10%）によって評価						
履修要件	特になし						
関連科目	公民Ⅱ（2学年）→公民Ⅱ（3学年）						
教 材	教科書：『倫理』東京書籍						
備 考	オフィス・アワー（月曜 16：00～17：00）						